たくさんの応募をお待ちしております！！

「昭和村十大ニュース」

令和７年に村内で起きたニュースを記録に残すため、村民の皆さまに「昭和村十大ニュース」を選んでいただきます。

昭和村十大ニュース候補の中から、10 項目を選び投票をお願いします。

ニュースの的中者には賞品もありますので、ぜひご参加ください！

昭和村十大ニュース　投票の手順

↓申し込みフォーム

●応募方法　「十大ニュース候補」の中から10 項目を選び（項目番号を用紙に記入）、最終ページの応募用紙等に必要事項を明記して、**昭和村役場企画創生係までご提出ください。**
※ WEB からのご応募も可能です！

●応募〆切　令和８年１月16 日（金）

●選定方法　投票の多い順（最も選択された項目順）に十大ニュースとします。

●賞　　品　昭和村スタンプ会商品券（総額３万円分）
※ 10 項目全て的中した方に商品券を一人５千円分贈呈します。６名以上の場合は、抽選ありにて決定します。
※ ９項目以下の的中した方には、各的中項目の人数を考慮（抽選あり）し、予算の範囲内で商品券を贈呈します。

令和７年　昭和村十大ニュース候補

1. 百歳賀寿、令和７年は、３名
栗城金一さん（松山）、小澤秀夫さん（佐倉）、五十嵐カヨ子さん（大芦）が今年で満百歳の誕生日を迎えた。

2. 近年稀にみる豪雪
２月７日役場の観測所で積雪２ｍ56cm を観測。１日だけで降雪量驚異の 84.0cm！

3. 農林水産大臣賞に菅家博昭氏
第 50 回福島県花き品評会において、菅家博昭さんの「銀河」が最高金賞である農林水産大臣賞を受賞された。

4. からむし暖簾を未来を担う子どもたちへ
３月 18 日昭和小学校で、からむし織研修生の小熊尚子さんが制作した村課題の暖簾を小学校へ贈呈した。暖簾は給食室の入口に設置予定で、児童が「からむし」に触れ、親しみを持ってもらう。

5. 佐竹倫知氏（さたけみちとも）が副村長に着任
４月１日より、佐竹倫知（さたけ　みちとも）副村長が新たに着任された。出身は三重県。

6. 昭和村にドローンポートがやってきた！
令和７年４月に、昭和村と NTT コミュニケーションズ株式会社によるドローンポート「Skydio Dock for X10」を用いた実証が行われた。今回の実証では、予め設定したルートを飛行したり、夜間の飛行試験では、有害鳥獣の生育調査などを行った。

▶ 次頁に続きます。

令和７年　昭和村十大ニュース候補

7. 長沼敬貴氏（ながぬまよしたか）が教育長に着任
5月21日から教育委員会教育長に長沼敬貴（ながぬま　よしたか）氏が着任された。

8. 総務省が村内公共インフラ Wi-Fi・防災カメラ等の整備を評価
令和７年度電波の日・情報通信月間記念式典が行われ、Wi-Fi ネットワークの整備や防災カメラの設置等の取り組みが評価され、総務省・東北総合通信局長より受賞された。

9. からむし織体験生事業 30 周年記念誌完成
からむし体験生事業 30 周年記念誌「からむしの学校」が完成し、村内各世帯に配布した。

10. 交通事故死者ゼロ 4000 日達成
村内で交通事故死者数ゼロ 4000 日を達成したため、会津地方交通対策協議会長から表彰された。村内では、2014 年以来から交通事故死者数がでていない。

11.「大ケヤキ」モニュメントを佐久間建設より贈呈
佐久間建設工業株式会社より 5500 年前の沼沢火山噴火に係る「大ケヤキ」のモニュメントの寄贈。本モニュメントは令和２年、三島町の大谷集落、大谷川河床から発見された 5500 年前の沼沢火山由来の大爆発で埋もれていた樹齢 450 年ほどの「大ケヤキ」でつくられている。

12. ドローンオペレーター講習で災害や遭難でより安全に
新たに村に導入される消防防災用ドローンのオペレーターに関する講習会が実施された。これから山岳事故・遭難といったもしもの事態にドローンが大いに活躍することが期待される。

13. 松山地区に獨協大学生再び
８月８日～11日の期間で、松山地区に埼玉県草加市の獨協大学生 10 名が来村した。この事業は福島県の地域活性化事業で、松山地区では、昨年度から継続して大学生を受入れており、今回は農作物の収穫体験や地区住民への聞き取り調査を実施した。現在、松山地区の地域資源や魅力をもとに住民マップを作成し、ＳＮＳで発信することによって、関係人口、交流人口を増やす取組をしている。

14. 8 月 15 日戦後 80 年慰霊法要
令和７年は、第二次世界大戦の終結から 80 年という節目の年にあたる。このたび、戦没者の御霊を慰め、恒久平和を祈念するため、８月15日、正法寺境内慰霊碑前において「戦後八十年慰霊法要」が執り行われた。当日は昭和村遺族会員をはじめ、地域住民など多数の参列者が静かに手を合わせ、戦争で亡くなられた方々の御霊に哀悼の意を捧げた。

15. 響き渡る透き通った歌声中学校合唱コンクール
喜多方プラザで、昭和中と金山中の２校合同による中学校耶麻両沼地区小・中学校音楽祭第１部合唱が行われた。それぞれ、課題曲と自由曲を披露したが、どちらも透き通るような歌声で、会場が感動に包まれていました。結果は、優秀賞で、９月５日の県大会出場を果たしている。

16. 2 年連続県民税完納
会津地方振興局の局長室において、個人県民税の完納を讃える知事感謝状が今野会津地方振興局長から佐竹副村長へ伝達された。本村は、村民の皆様の高い納税意識により、2 年連続での表彰となった。引き続き皆様のご理解、ご協力のもと、完納に向けて取り組んでいきます。

17.「北と南の交流展」昭和村と宮古島（令和７年度福島県地域創生総合支援事業）
８月23日から24日にかけて、本村と同じからむしの産地である宮古島から、関係者を招き映画上映会とワークショップを開催した。特にワークショップでは本村と宮古島のやり方を比べ、お互いの違いと共通点を見出し、じっくりと交流を深める機会となった。

▶ 次頁に続きます。

令和７年　昭和村十大ニュース候補

18.「村の駅味楽」と「やまか食堂」がテレビに

８月24日に放送されたタクシー運転手さん一番うまい店つれてって！にやまか食堂と味楽が放映された。それぞれのお店で名物が紹介され、テレビ放映後はお客さんが殺到した。

19. リサイクルから得た収益を中学校へ

昭和中学校で、すみれ荘にリサイクルボックスを設置している荒川産業（株）の荒川洋二相談役が来訪し、故紙コンテナパーク基金の贈呈式が行われた。これは荒川産業がリサイクルボックスの収益を地域に還元する取組の一環で今回昭和中学校が受領することとなり、荒川相談役から本名生徒会長に贈呈された。

20. おおくま町物語伝承の会による公演を開催

大熊町の文化団体が多数出演し、唄・舞踊・民謡の他、この日に向けて練習を重ねてきた「昭和音頭」が披露された。また、昭和村からも民話の会の話し手2名が出演し、地域に伝わる民話を披露した。

21. 喰丸小で盆踊り

仮装をした家族連れなどで賑わう中、盆踊り愛好会に所属する子どもたちが中心となり奏でる太鼓にあわせ、およそ１時間踊りを楽しんだ。盆踊り愛好会の代表である酒井聡志さん（佐倉）は「地区での盆踊りの開催が年々難しくなる中で、伝統である盆踊りを継続していきたい。実施してほしい集落があれば出張します！」と話していた。

22. 昭和出身である画師佐々木松夕「松山画師の系譜展」開催

９月15日～９月22日に徳林寺で、昭和村出身の画師佐々木松夕らの作品を集めた「松山画師の系譜展」が開催された。約70点が展示され、来場者からは「地元出身で高齢になっても活躍し作品を残した画家で、勇気づけられる」と話していた。

23. 雨にも負けず風にも負けず第24回昭和村高齢者グラウンドゴルフ大会

下平運動広場で昭和村老人クラブ連合会主催による「昭和村高齢者グラウンドゴルフ大会」が開催された。朝から小雨が降るあいにくの天候となったが、参加者の皆さんは雨にも負けず、互いに声をかけ合いながら、笑顔で交流を深める姿も見られた。

24. いつもの防災訓練とは何かが違う…

７月頃に導入したセルラードローン「Skydio X10」を活用しての初の防災訓練を実施した。ドローンのカメラから映し出す映像は鮮明で、音声を流すこともが可能なので災害時にも人より先に現場確認ができたり、人命救助の手助け等の活躍が期待される。

25. ついに「昭和かすみ草」ロゴ決定！

10月１日に「昭和かすみ草ロゴ発表会」が行われた。ＪＡが行った公募により全国から１４１作品の応募があり、審査の結果、東京都の橋本裕里さんの作品が優秀賞に選ばれた。花を淡い虹色にしたことにより、全体的に柔らかいアクセントとなるように表現されており、今後は出荷用資材や販促資材等にプリントされ昭和かすみ草のさらなるＰＲに各方面で活用される。

26. 郡山語り部さんとの交流会

10月４日、郡山市から「郡山かたれ　やまんばの会」の方々11名が昭和村を訪れ、昭和村語り部の会と交流会を行った。総勢17名による昔語り発表は、それぞれの地域に語り継がれる民話や伝説を聞くことができた貴重な機会となり、これからも交流を続けていこうと約束をしていた。

27. 村の未来について語る商工会講演

10月４日に昭和村公民館ホールで、昭和村商工会主催で「昭和村の未来について考える講演会」と題し、第１部は昭和村商工会青年部の酒井和希氏、第２部はお笑いコンビ「母心」の関あつし氏が講演した。

▶ 次頁に続きます。

令和７年　昭和村十大ニュース候補

28. 書歴 70 年の集大成「小林耕山さんの展示会」
10 月 18、19 日に昭和村公民館で小林耕山さんの展示会が行われた。長年書きためた作品を展示し、希望者へ譲渡した。

29. 撮りたかった喰丸小「大イチョウ」ライトアップ
熊の出没が多発しているため、喰丸小の大イチョウの木ライトアップが中止された。

30. 昭和村内でクマの出没多発
たった１年で過去最多の 95 頭捕獲

31. 昭和村での開催７年ぶりの両沼地方植樹祭
10 月 28 日、令和７年度両沼地方植樹祭が道の駅で開催され、県や両沼地方町村長、関係団体と昭和小学校児童が参加し、「しらかばの苗木」を植栽した。

32. 専修大学生、小野川地区へ
11 月７日から９日、小野川地区に専修大学生６名が来村し、冬囲い設置やフィールドワーク、住民へのヒアリングを通して地区への理解を深めた。

33. チーム大健闘！ふくしま駅伝大会
11 月 16 日に、第 37 回市町村対抗福島縦断駅伝競走大会が開催され、本村からは本名萩さんが「希望ふくしま」チームとして第２区 8.2km を走り、見事村の部区間賞を取る走りを見せてくれた。

34. NTT ドコモビジネス×昭和村によるドローンを活用して「熊対策」
村は 2025 年７月に山岳遭難対応や設備点検を目的に Skydio X10 を導入しており、今回の対策はその運用範囲を拡大するもので、NTT ドコモビジネスは講習や導入後の技術支援を通じて自治体職員による運用実現をサポートしており、地域の安全確保と ICT 活用による効率化を両立している。

お申し込み一覧

昭和村十大ニュース応募用紙　▶　総務課 企画創生係

（〆切 :1 月 16 日㈮）

十大ニュース候補の中から必ず 10 項目を選び項目番号をご記入ください。

お 名 前			
住　　所	昭和村大字		
電話番号		年　代	※例：30 代

✂・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ キリトリ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

新診療所の名前募集　▶　保健福祉課

（〆切 :1 月 16 日㈮）

※有床診療所となるため、「病院」という名称は使用できません。

※名称の意味・理由の欄については、特にない場合は記載不要です。

※必要事項が記載されていれば、任意の用紙でも応募可能です。

ふりがな	
新診療所の名称	
名称の意味・理由（任意）	
応募資格 （いずれかに〇をつけてください）	昭和村在住　　昭和村出身　　昭和村通勤・通学